

この本の使い方 ▶▶ 教師の方へ

この本の目的

- ▶ 本書は、CEFR／日本語教育の参考枠 B1～B2 レベルの学習者を対象としています。
- ▶ 社会生活で不可欠な読む力・聞く力を発展させ、さらに B2 レベルへと進む際に求められる、考える力（論理的思考力）を養うことを目標としています。
 - ☞ ここでの考える力とは、情報を受け取るだけでなく、別の視点から考えたり、自らの思考に落とし込んで深める力のことです。

構成とトピック

- ▶ 本書は「読む×考える（読解）」と「聞く×考える（聴解）」の 2 パートで構成されています。
- ▶ 各パートに 1 から 40 のトピックがあり、同じ番号はペアになっています。2 技能で関連した話題を扱うことで、読む・聞く力を伸ばしつつ、多角的に考える力も養います。
 - ☞ 1 技能のみでも使用できますが、並行して進めるとより効果的です。
- ▶ 40 のトピックは「生活」「ニュース」「ビジネス・アカデミック」「エッセイ・ノンフィクション」「フィクション」の 5 つのジャンルからなります。
 - ☞ 日本語教育の参考枠「読むこと」「聞くこと」の B2 以上で挙げられているトピックを中心に、幅広く選定しました。
 - ☞ どのジャンルも、前半は易しく、後半は難しくなる構成ですが、各設問は独立したモジュール形式のため、どこから始めても問題ありません。

問題の形式

1 つのトピックにつき、LEVEL 1～3 の 3 段階の問題があります。

段階	目標	解答形式
LEVEL 1（内容確認）	文章や音声の基本的な内容を確認する	選択・○×・短答など
LEVEL 2（応用）	内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察をする	選択・短答など／記述 ※トピックによって異なる
LEVEL 3（発展）	内容に関連して、自分の考え・意見を述べる	記述

記述問題について

- ▶ LEVEL 2・LEVEL 3 の記述問題は、決まった正解がありません。学習者の自由な発想を引き出してください。
- ▶ 各種語学試験の形式に慣れた学習者の場合、正解がない問題に戸惑いを感じるケースもあります。「試験問題ではない」「自由な発想で答えてよい」ということを適宜伝えてください。

- ▶ クラスで実施する場合は、ペア・グループで話し合って進めたり、発表形式のフィードバックを取り入れることも効果的です。さまざまな解答が考えられるため、対話を通じてより活発な授業となることが期待されます。

／思考のロジック

LEVEL2・LEVEL3には「思考のロジック」がついています。解答への道筋や、アイデアを開発するヒントを示すものです。

- ▶ 設問を解く前に確認し、解答にたどり着けない場合や、論理展開が不十分である場合は、適宜振り返りを促してください。
- ▶ ロジックは論理展開の一例です。根拠が明確であれば他のアプローチで解答しても問題ありません。

／学習の進め方

「読む×考える」と「聞く×考える」の進め方は同じです。

※初回は「この本の使い方（学習者の方へ）」に沿って、本書の目的と構成を説明します。

- ①読む／聞く前に、タイトル、ページレイアウトやデザイン、イラストなどから、話題を予測するよう促します。
- ▶ 特別な導入や問い合わせはなくても構いません。
- ▶ 場面設定や背景事情などが理解しにくい場合は、適宜補足してください。
- ②「読む時間」／「聞く時間」を確認します。
- ③①を目安に、文章／音声の内容を確認します。（設問を解く時間は別です。）
- ▶ 音声の理解が難しい場合は、2～3回聞いたり、ゆっくりの速度で再生してもかまいません。
- ④LEVEL 1 の設問に取り組みます。
- ⑤LEVEL 2 の設問と「思考のロジック」を読んで、考え方を確認してから、問題に取り組みます。
- ⑥LEVEL 3 の設問と「思考のロジック」を読んで、考え方や意見の組み立て方を整理してから、問題に取り組みます。

※記述問題以外の解答は、各パートの最後に掲載しています。

※記述問題は決まった正解がありませんが「解答例／解答のポイント」をWebサイトで確認できます。

授業の構成例

下記は一例です。状況や指導方針に応じて、時間を変更したり、発展活動を追加するなど、自由にお使いいただけます。

- 授業時間目安：1課（読解または聴解のどちらか1つ）あたり30～45分

項目	時間	備考
(導入)	(5分)	●特別な導入はなくてもよい
内容確認	2～5分	●状況に応じて、辞書等の使用を許可してもよい
LEVEL 1	問題5分 フィードバック5分	
LEVEL 2	問題5分 フィードバック5～10分	●ペア、グループワークでも可 ●フィードバックは発表形式でも可
LEVEL 3	問題5分 フィードバック5～10分	●ペア、グループワークでも可 ●フィードバックは発表形式でも可

評価について

- ▶本書全体を通して、言語活動「読むこと」「聞くこと」の日本語教育の参照枠B2レベル到達を目指しています。授業設計時は日本語教育の参照枠を指針としてください。
- ▶各設問の厳密な採点や添削は必須ではありませんが、必要な場合は下記を参考にしてください。Webサイトにある「解答例／解答のポイント」もご参照ください。
 - LEVEL 1・2（選択・○×・短答）：明確な正答があります。根拠は文章や音声の中に示されています。
 - LEVEL 2（記述）：本文の内容をもとに考察する問題です。解答根拠の妥当性、論理展開の明確さ等を検討、評価してください。
 - LEVEL 3（記述）：本文に関連して自由に発想する問題です。論理展開の明確さ、主張と理由の一貫性、多角的視点の有無等を検討、評価してください。

音声・解答例のダウンロード

以下のファイルは、Webサイトからダウンロードできます。

- 「聞く×考える」の音声（ふつうの速度／ゆっくりの速度（0.8倍速））
- 「聞く×考える」の音声スクリプト
- 記述問題の解答例／解答のポイント



<http://ask-books.com/yomukiku/>

*ご利用には、この本の一番最後のページの情報が必要です。